

平成28年11月の開設以来、延べ10,000名を超える多くの方々に事業にご参加いただきました。また、新型コロナウイルス感染拡大を機に、より多くの方々に「情報」を発信するため「YouTube動画配信」もスタートしました（配信本数22本、延べ視聴回数13,000回）。

【兵庫県伝統文化研修館】

兵庫県では平成28年11月、日本の伝統文化の継承・普及・発展をめざす「兵庫県伝統文化研修館」を開設しました。伝統文化研修館では、青少年を対象とした「青少年伝統文化セミナー」や、一般を対象とした特別講座（座禅体験、古典文学、国際交流等）、動画配信（事業の様様をYouTubeで配信）など魅力的で多彩な事業を実施しています。

【花笠かぶき人間塾とは】

平成28年11月、兵庫県伝統文化研修館の開設と同時に、青少年育成事業の中心として「花笠かぶき人間塾」は設立されました。「花笠かぶき人間塾」は、国際社会の中で自信と勇気を持って活躍できる人材の育成をめざしています。



さくらチームによる 詩謡しらさぎ姫路城（姫路キャスパホール）
※地元・姫路市と連携して実施

5周年の歩み



兵庫県伝統文化研修館と「陽春に輝く姫路城」

【編集後記】

伝統文化研修館の寄贈者（濱田昌子さん）と初めてお会いしたのは、もう20年も前になります。芸術家が集う交流会で初めてお会いして以来、ご縁をいただき伝統文化研修館の開設から事業も担当させていただきました。本当に多くの方々にご支援をいただき、支えていただいた「5年間」でした。

この場をお借りしてお礼を申し上げますとともに、これからも変わらぬご支援をいただければ幸いです。

【事務局】

令和4年3月

兵庫県中播磨県民センター
伝統文化研修館活用推進協議会

ご挨拶

兵庫県伝統文化研修館の開設5周年に際して、ひと言ご挨拶を申し上げます。日本の伝統文化の継承・普及・発展をめざす伝統文化研修館は、平成28年11月の開設以来、多くの皆様のご理解とご支援により、日本の伝統文化の発信の拠点として活動を展開してきました。

この間、新型コロナウイルス感染拡大という「未曾有のパンデミック」の中にあって、伝統文化研修館活用推進協議会の安平会長をはじめ委員の皆様、事業にご出演いただいた多くの皆様（とりわけ青少年とご父兄の皆様）には感染拡大防止対策の徹底を図りながら、日本の伝統文化の発信に多大なご尽力を賜り、心より感謝を申し上げます。

また令和元年度には、姫路市ご出身の企業家から貴重なご寄附をいただき、地元・姫路市との連携のもと、伝統文化研修館の活動を発信するDVDの制作、国際会議や好古園での「日本文化の発信」など多彩な事業も実施。延べ1万名を超える多くの方々に、事業へのご参加をいただきましたことに重ねてお礼を申し上げます。

今後とも、世界文化遺産「姫路城」や書寫山圓教寺など歴史とロマンあふれる姫路・中播磨の地から「日本の伝統文化の魅力」を発信してまいりますので、かわらぬご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

兵庫県中播磨県民センター
センター長 **法田 尚己**



兵庫県伝統文化研修館が開設されて5周年になりました。改めて、この貴重な施設を寄贈いただきました故 濱田昌子氏に感謝を申し上げますとともに、寄贈を受けてのち、多彩な事業を展開してこられた兵庫県とくに中播磨県民センターの皆様へ感謝と敬意を申し上げます。

当協議会では、「青少年の文化力アップ・国際交流と異文化理解・文化発信と人材育成」をコンセプトに、日本の伝統文化の継承・普及・発展に寄与する事業を展開すること、とりわけ伝統文化を人間形成の軸として、次世代を担う青少年の文化的素養の向上や育成、国際化を踏まえた日本文化の理解などを目指して、研修館の活用・推進を図ることをその目的としています。

そして、研修館では、小・中・高校生を対象とした伝統文化セミナーや、広く一般の方を対象とする座禅体験・古典文学や雅楽の鑑賞・国際会議などでの日本舞踊の披露、海外からの来賓や留学生を対象とする日本文化の体験事業の実施、併せて伝統文化研修館の活動を紹介するDVDやCDの制作、それにYouTubeによる動画配信など、多彩な情報発信も行っています。

今後とも、この研修館が、日本の伝統文化の継承・普及・発展のために大きな貢献を遂げていただきますよう、全面的に協力をさせて頂きたいと思っています。

伝統文化研修館活用推進協議会 会長
弁護士 **安平 和彦**

歴代県民センター長 祝辞

早いもので伝統文化研修館が開設されてから5周年になります。私がセンター長に着任した年に、故 濱田昌子さんから「ご寄贈」のお話をいただき、翌年（平成28年）に伝統文化研修館を開設。多くの方々のご参加のもと「開設記念事業」を開催させていただいたことが、まるで昨日のことにように懐かしく思い出されます。

この5年間を振り返った時、多くの関係者のご理解とご支援により、濱田さんの「寄贈に込めた思い」が実を結び、大きな成果となって表れていることに心から感謝を申し上げます。姫路・中播磨の地は、世界文化遺産「姫路城」をはじめとして“歴史とロマンあふれる地域”です。5周年の節目にあたり、あらためて「日本古来より伝えられた和の心、良き精神を受け継いでほしい」との寄贈者の思いに心を馳せ、関係者の一員として伝統文化研修館のますますの発展をご祈念申し上げます。

岡本 周治（平成27年4月～29年3月）



県としては経験のない伝統文化研修館の運営活動を軌道に乗せ本格化する、これが課題でした。未来志向で「和の心」を育む、いわゆる伝統芸能の世界にとらわれないで議論を重ねました。世界的な演奏指揮者や国際報道マンまで含む多彩な講師招聘もその一環。

最大の眼目は若い人たちです。県内高校生たちの「世界から尊敬されるこんな日本人に」がテーマの真摯なトークや、「花笠かぶき人間塾」の子どもたちの一心不乱の成果発表、そして何と言っても“さくらチーム”の姫路らしい播磨の姫の創作舞踊。彼女たちの艶やかで清々しい姿には心洗われる思いでした。芸の世界の厳しさも垣間見えました。

次々と新企画が進む中で、病を押して心血を注いでくださった牽引役の故 濱田昌子さんが遂に逝かれたのもこのとき。「築かれた礎は力強く育ってますよ。」私にとっても心に刻まれた2年間。あらためてバトンを継がれた皆様に敬意とエールを送りつつ、さらに花開き実を結ぶことを祈念しています。

田中 基康（平成29年4月～31年3月）



令和の幕開けとなる年に着任しましたが、ちょうど姫路市ご出身の企業家からご寄附をいただき、好古園での「日本文化の披露」等を実施。中でも県立歴史博物館の公演では、偶然にも大学の先輩と「姫路に思いを寄せて」と題した対談をさせていただいたり、「姫路城おどり節」を男性メンバー（研修館の応援団）と一緒にご披露。私は、おどり節の「歌唱」を担当し、緊張したことを今でも懐かしく思い出します。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の中で「青少年の貴重な体験の場を、いかに確保するか」も考え、姫路キャスパホールで「青少年と父兄のみ」での公演としました。また、秋には、広く情報発信を図るために新たな試みとしてYouTube動画配信もスタートしました。

これからも世界文化遺産「姫路城」とともに、「日本の伝統文化の魅力」を伝える拠点として、ますます発展されますことをお祈りいたします。

小橋 浩一（平成31年4月～令和3年8月）



祝辞

私は姫路市に生まれ、長年、書寫山圓教寺 第四百十世長吏として勤めてきました。また、姫路市の小学校教員として20年近く子ども達の教育にも関わってきました。こうした中で、日本の未来を担う子ども達をはじめ多くの人々に、兵庫県伝統文化研修館が「日本の文化」や「和の心」を伝える活動をされていることに嬉しく思います。

日本の伝統文化を考えると、その根底には、古来から受け継いできた「まず他人を思いやる。」すなわち「忘己利他」の精神があると思います。

私は、先の第二次世界大戦を経験し、焼け野原と化した故郷・姫路に涙し、そして、日本人が持つ「勤勉な精神」と「他者を思いやる心」によって復興を成し遂げてきた姿も見てきました。

新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックが続いていますが、日本人が古来から受け継いできた「勤勉な精神」「他者を思いやる心」があれば、きっと克服できると信じています。

兵庫県伝統文化研修館が、歴史と文化にあふれる姫路から「日本の文化」「和の心」を伝え、発展されることを心から願っています。



天台座主 **大樹 孝啓**

兵庫県伝統文化研修館開設5周年誠にありがとうございます。

この五年間の伝統文化研修館の様々なご活動を、ご関係各位の伝統文化普及に対する大きな熱意を、敬意とある種の羨望を持って拝見しておりました。私自身、参加させて頂きたいと思うような企画が満載でございます。

伝統文化研修館の寄贈者、故濱田昌子先生とは長い長いお付き合いでございました。作品を委嘱して頂いたり、共に公演を行わせて頂いたり、その上ご一緒にポーランド、イスラエル、パリなどへ日本文化紹介の為に一緒させて頂いたのも良き思い出でございます。2009年に昌子先生から「子供も大人も楽しんで演奏できる、姫路の曲を」と作曲のご依頼を受け「姫路城おどり節」の原型を作曲致しましたところ、多くの機会にご活用を頂いていることをお知らせ頂いておりました。やがて2019年「姫路城ゆかりの伝統文化魅力発信プロジェクト」の一環として「姫路城おどり節」を録音CDとして定着させるお手伝いをさせていただくこととなりました。CD完成後多くの機会にこの録音音源、楽曲をお使い頂いていることを大変嬉しく思っております。

昌子先生の日本伝統文化普及に対する熱意が、そのまま伝統文化研修館と、さらに研修館を飛び出してその事業の幅を広げていることに伝わっていると強く感じられます。伝統文化研修館事業の更なるご発展を心よりお祈り申し上げます。

【プロフィール】

東京藝術大学音楽学部卒業、東京藝術大学非常勤講師
平成20年度文化庁文化交流使、第66回日本藝術院賞

重要無形文化財総合認定保持者
「姫路城おどり節」作曲・演奏
5世 常磐津 文字兵衛

5周年メッセージ

邦楽囃子演奏家 **藤舎 清鷹** (姫路市出身)

伝統文化研修館で出会った多くの子どもたち。あの暑い夏と一緒に小鼓の練習をしたことを思い出します。私が学んできた邦楽の知識と経験を子どもたちに伝えましたが、何よりも「伝統文化の心」を若い世代に伝えたいと思っています。やがて彼らが大人になった時「あの暑い夏の稽古」を思い出して社会人として生きる力、心の糧になることを願っています。



青少年を指導する藤舎氏

兵庫県立大学 天文科学専門員 理学博士 **鳴沢 真也**

この度は、貴館開設5周年おめでとうございます！ これからも、兵庫県の、いやいや日本の伝統・文化を国内に、世界に幅広く伝承していかれることと信じております。

とりわけ期待しているのは『オリオン星人の舞』です！

ひょっとすると地球外の知的生命もなんらかの手段でそれを見るかもしれません。その時、地球には素晴らしい文化があるのだと宇宙的にもきっと話題になるはずです。今後のご活躍を心より祈念いたします！！



世界的な地球外知的生命体探査活動の講演(鳴沢氏)

播磨国総社射楯兵主神社 権禰宜 **大恵 貴之**

5周年おめでとうございます。

研修館を起点とした多様な事業を展開して、文化伝統に触れる「場」と「機会」を広く提供されてきた結果、「より触れたい」「より興味を持ち、もっと勉強したい」と思った人も少なくないのではと思います。研修館が発信源となり、このような人が一人でも多く現れることを願っています。

お役に立てる機会があれば微力ではありますが、お手伝い出来ればと思っています。



雅楽のセミナー(大恵氏)

「花笠かぶき人間塾」さくらチーム **さなみ**

私は伝統文化研修館で、日本舞踊や伝統的な楽器に触れたり、様々な分野で活躍されている方のお話を聞いたりしました。日常ではできない経験ができたからこそ、普段の生活の中にも日本の美しい所作があることに気づくことができました。日本の文化に触れる機会が少ない中で、このような貴重な体験ができたことに本当に感謝しています。

そして、これらの経験を通して得たものを多くの人に伝えていきたいです。



開設5周年記念事業でのさくらチーム

写真で振り返る5周年

平成28年11月、多くの方々にご参加をいただき「開設記念事業」を開催しました。



「開設記念事業」



正月体験（百人一首）



新春展示と新年挨拶

◆国際会議や観光施設で、海外からのゲストに「日本文化」を披露



神戸ポートピアホテル



好古園（姫路市）

◆青少年伝統文化セミナー

伝統文化研修館の中心となる青少年育成事業（小・中・高校生等を対象としたセミナー）

【内容】

- ・姫路城の舞と歌の練習
- ・着物のきつけと礼儀作法
- ・和楽器の練習
- ・舞台での「成果発表」

また、地元・姫路市とも連携して「開設5周年記念事業」も開催しました。



礼儀作法



成果発表（姫路キャスパホール）



【開設5周年記念事業（アクリエひめじ）】



特別パネルディスカッション
「文化の未来を見つめる」

◆多彩な講座や事業

広く一般の方々を対象に、座禅体験、古典文学や雅楽、国際交流や異文化理解、新春展示など魅力的で多彩な事業を実施しています。



座禅体験



南極地域観測隊員の講演



県内高校生による日本文化再発見シンポジウム
（兵庫県公館）

◆日本文化体験

海外からの賓客や留学生、日本の高校生等を対象とした「日本文化体験」



着物を着ての茶道体験



踊りとお琴の体験



小鼓を体験

◆伝統文化特別事業

姫路市出身の企業家からご寄附をいただき、地元・姫路市とも連携して「伝統文化特別事業」を実施。伝統文化研修館の活動を紹介する「DVD」や「姫路城おどり節CD」の制作、好古園での日本文化の披露等を実施。伝統文化研修館の「さくらチーム」が姫路市長を表敬訪問しました。



清元姫路市長を訪問



好古園での日本文化披露（再掲）